

平成 23 年度 第 1 回市民公開講座 報告

社会・職能局 公益事業推進部部員 遠藤 卓也（秦病院）

部長 村田康成（石岡循環器科脳神経外科病院）

シンポジウム「寝たきりにならないために—理学療法（士）ができること—」

日時：平成 23 年 7 月 16 日（土）13：30～16：30

会場：ひたちなか市文化会館 大会議室 参加費：無料

主催：（社）茨城県理学療法士会 後援：茨城県、ひたちなか市ほか

内容

開会・閉会挨拶及び座長

大曾根 賢一（筑波メディカルセンター病院）

特別講演

所 圭吾（茨城県理学療法士会）

1. 脳卒中に対する理学療法

金子 哲（水戸赤十字病院）

2. 大腿骨頸部骨折に対する理学療法

橋本 貴幸（総合病院土浦協同病院）

3. がんに対する理学療法

峯岸 忍（筑波メディカルセンター病院）

4. 肺疾患・呼吸不全に対する理学療法

居村 茂幸（茨城県立医療大学大学院）

5. 心筋梗塞・心不全に対する理学療法

村田 康成（石岡循環器科脳神経外科病院）

6. 変形性関節症・認知症に対する理学療法

国谷 伸一（介護老人保健施設シルバービレッジ）

7. 質疑応答

当日は大変暑い中 68 名（内シンポジスト、参加局員 15 名含む）の方々にご参加頂きました。参加者の中にはご自身でリハビリに通っている方・経験した方、ご家族が入院中である方、リハビリに関連する職種の方、PT 学生、高校生などもおり、皆様熱心に聴講されていました。質疑応答では「家族が行えるリハビリの方法はないか」「認知症の方にとどのように接したらよいか」など多くの質問が挙げられ、関心の高さが伺えました。

参加された方の感想として、「ユニークな説明でとても分かりやすく理解できた。」「家族が入院中で心配していたが、大変参考になりました。」「また参加したいので定期的開催してほしい。」「地域の集会にも来て講座を行ってほしい。」などの感想が寄せられ、理学療法士の果たすべき役割がまだまだあると感じました。

今後も開催が予定されていますので、多くの方に市民公開講座を通して理学療法（士）を知ってもらえると良いと思います。